

鬼怒中だより



第8号

令和6年3月1日（金） 発行者 校長 高橋 裕一

生徒信条 ～ 自ら判断し、実行し、責任を持とう ～

「3年生を送る会」・「感謝の会」 2月22日（木）



2月22日（木）に「3年生を送る会」と「感謝の会」が行われました。「3年生を送る会」では、3年間の思い出を振り返る動画を視聴しました。懐かしい映像が流れ、3年間の成長を感じることができました。その後、職員による職員合唱（YELL）があり、生徒たちは先生方の美声に酔いしれました（?）。「感謝の会」においては、生徒たちから先生方へ手紙の贈呈がありました。さらに、3年生全員がステージに立ち、この日のために一生懸命練習してきた「正解」という素敵な歌を披露してくれました。心優しく、温かな雰囲気の中、3年生からの素晴らしい贈り物でした。ありがとうございました。卒業しても常に感謝の気持ちを忘れず、どこに行っても愛される人間でいてほしいです。

第3回鬼怒中学校地域協議会 2月9日（金）



2月9日（金）に、第3回鬼怒中学校地域協議会が開催され、今年度の事業や学校マネジメント全体アンケートの結果、子ども未来会議の内容等の報告がありました。特に、第2回地域協議会時に行われた子ども未来会議はとても有意義な会議だったとの報告があり、参加した生徒たちも協議会のメンバーも今後の活動のアイディアを得ることができたようでした。今年度は、地域

コーディネーターを中心に様々な活動が展開され、鬼怒中学校地域協議会としてはとても充実した1年となりました。来年度もさらに学校・地域・保護者が連携して積極的に活動ができればと考えておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

立志式 2月1日(木)・立志記念スキー教室 2月2日(金)



立志式



スキー教室

2月1日には立志式があり、校長として次のような話をさせていただきました。

「人生には多くの大切な『節目』があります。いろいろなことをしっかりと考えることができるようになった、この十四歳という大きな節目に、自分自身のこと、自分を育ててくれた家族のこと、自分の周りにいる友人のこと、自分に関わってくれているたくさんの人のこと。そのような大事なことをしっかり腰を落ち着けて考える機会にしてほしいと思います。更に、皆さんは来年義務教育最後の年を迎え、自分の進路を選択しなければなりません。自分は将来どんな仕事に就きたいのか、そのために必要なことはどんなことなのか、中学校を卒業したらどんな進路に進んだらいいのかなど自分自身の将来についても、きちんと考える必要があります。」

生徒の皆さんには、節目を実感して、前向きに生活してほしいです。

次の日は、立志記念のスキー教室でした。暖冬で、雪が少なかったのですが、天気も良く充実した活動となりました。活動前に、「スキーやスノーボード上達のこつは、たくさん転ぶこと。失敗を糧にすると上達が早いです。何事もチャレンジ精神が重要です。」という話をさせていただきましたが、中学生はたった1日で上手になります。若いうてすごいなと感じました。

第42回卒業証書授与式 3月11日(月)

卒業証書授与式(卒業式)は、1年間の中で最大の行事であり、格別の思いがある式典です。3年生の皆さんの義務教育終了と新たなステージへの旅立ちを祝うために、一生の思い出となる厳粛な式にしたいと強く思います。

卒業式の主役はもちろん3年生(卒業生)の皆さんですが、在校生も保護者の皆様も、そして教職員も卒業式からたくさんの感動と明日へのエネルギーをもらいます。中学校生活3年間の最後の1日となる「卒業式」。卒業生をはじめ、参列された保護者の皆様とともに、心に残る感動的な「卒業式」にしたいと思います。生徒の皆さん、凛々しく堂々とした行動、大きな返事、心のこもった歌など、期待しております。

